



三線をひく大学生＝沖縄県那覇市の首里城
(浜松市楽器博物館提供)



三線
(日本)

中国から沖縄に伝わり、それが本土にわたって三味線になりました。
浜松市楽器博物館の嶋和彦先生は話します。
三線は、王さまやその周りから、ふつうの人たちまで、みんなに親しまれます」
中国から三線が来たころ、沖縄は王さまが治める土地でした。
三線は、王さまやその周りから、ふつうの人たちまで、みんなに親しまれます」



「日本中で、ふつうの生活にいちばん音楽がとけこんでいるのが沖縄です。家でも海山でも、みんな歌っておじる。三線は、そんな沖縄の『ごころ』と言えます」

沖縄の『ごころ』、奏でる

さいてみよう!



パケット通信料がかかります。一部対応していない機種もあります。

しまれました。
今でも沖縄では、三線の先生がたくさんいて、いろいろな流派があります。楽器を作る人もたくさんいます。
三味線には、動物の革をはりますが、三線にはのはニシキヘビの革です。ニシキヘビは、東南アジアやインドなどにしかいません。昔から、沖縄と東南アジアの間では、行き来がさかんだったことが、三線から分かります。



2016年6月26日 朝刊 YOMOっと静岡

①三線と三味線は、どこが違いますか。

[]

②三線から、沖縄がどこに行き来をしていたか分かりますか。

[]

年 組 名前

(小学校高学年 社会・音楽・総合)